



## 「物語」を読まない

◎「図鑑、クイズ、キャラクターの本は熱心に読むのに、物語は読んでくれない」……

このような相談を保護者から受けることがあります。いろいろな物語を読んで、心が豊かに育ってほしい、読解力を伸ばしてほしいという願いがあるようですね。

◎物語を読むことを嫌がる理由としては、

- ①ストーリーを追ったり理解したりすることが難しい、面倒くさい
- ②登場人物の気持ちや考えが複雑でわかりにくい
- ③話がどのように展開していくか見通しがもてないので不安になる などです。

◎私が今まで取り組んで効果的だった実践を御紹介します。

- ・「ドラえもん」のマンガ本を読む。「ドラえもん」は、ストーリーがわかりやすく、人の気持ちの動きが比較的読み取りやすいです。また、ある程度、話のパターンが決まっているので、安心して読めます。文と絵が一緒ということも良いです。
- ・「物語の結末を先に知っておく」 教科書の物語教材を扱うときに、個別指導で取り組みました。結末を知っているので、安心して読めるようです。そして、最後から前に戻る形で逆にストーリーを追っていくと、物事の因果関係がわかりやすくなるようです。



※「こころのお便り」は、情緒通級の現役教諭が原稿を書き、深大出版で編集しています。

子育てに悩む保護者の方、児童を理解したい先生等どなたでもプリントしてお使いいただけます。